

THE GIDEON

THE GIDEON

TODAY

ギデオンの
働きと恵み

2020

10-11 月号



一般財団法人 日本国際ギデオン協会 THE GIDEONS INTERNATIONAL IN JAPAN

Testimony



いつの間にか家にあった聖書

手渡された一通のメモから

ジーザス・ファミリー 牧師 平尾政信



仕事で訪れていたドイツの町で、そのツアーの添乗員の方から一通のメモを手渡されました。これはその内容です。

愛は寛容であり、愛は親切です。
また人をねたみません。
愛は自慢せず、高慢になりません。
礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、
怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに
真理を喜びます。 聖書1コリント13章4節～7節
Forgiven Forgotten Forever Jesus loves you!

1992年の夏の出来事です。この出来事は私の人生に大きな転機をもたらすこととなったのです。実は私は、失意の中でその旅行に出かけました。理由は結婚に失敗し、もう自分の人生どうなっても構わないというような思いで日々を過ごしていた時だったのです。心の中は失望と、憎しみと、自分自身の不甲斐なさに対する怒り、情けなさや恥ずかしさが入りまじり、相手を憎み、友人や家族までも逆恨みし、誰をも信じる事ができない、全くの暗闇の中をさまよっていました。

そんな中、文化交流でドイツを訪れることになったのです。私はいけばなのある流派の家元の子として生まれ、やがては家元となる身でした。様々な分野、日本文化で活躍されている方々といっしょにこの旅行に参加したのですが、私はひたすら自分の心情を隠し、誰にもそんなみじめな状態であることを悟られぬようにと精いっぱい見栄を張っていました。そして何日かが経ち最後の日、何気なく添乗員さんと話しながら歩いているとき、急に自分自身の心情を、自分でも不思議な

のですが、話し始めていました。その時、添乗員さんはそれをただ聞いてくださりその日は終わりました。翌朝、私たちは帰国する日で添乗員さんは現地に残って後発で来る方を案内されることになっていました。そこでこのメモをくださったのです。

そのメモのことばが私の心を打ちました。人を赦すことのできないこんな自分が赦されている！
こんな私が愛されている！ それを知ったとき自分自身がずっと楽になりました。そして、第一コリントのみ言葉を何度も繰り返し読んでいました。もっと聖書を読みたい、知りたいという思いが私の中で沸き起こってきました。

家に帰ってから、前にどこかで聖書のようなものを見かけたと思い本棚を見てみるとビニールの表紙の一冊の本がありました。それはギデオン協会さんが配布された聖書でした。どうして家にそれがあのか、だれがいつどこで手に入れたものなのかは全くわからないのですが、家に聖書があったのです。手に取って読み始めましたが、内容はよくわかりません。そこで、もっと知りたいと思い添乗員さんに連絡を取って何度か会ってお話をし、教会へ連れていってもらって信仰告白をし、私のクリスチャン生活が始まりました。

憎しみと失望の中で、落ちるところまで落ちてやれとあきらめていた人生でしたが、イエスさまと出会い、私の人生は失望が希望に変わり憎しみは愛へと変えられました。今は、献身し牧師として、家内とふたりの子どもと共に主に仕える最高の人生を送っています。私にとって家の片隅にだけかが犠牲を払って配布してくださった聖書があったこと、それは、決して偶然ではなく神さまのご計画であったと確信し、み言葉を伝えることの大切さ尊さを思い起こさせてくれるものです。

Testimony

名前の書き込んであった初めての聖書

福音伝道教団 益子キリスト福音館 飯村敦子

私が、人生初めて出会った聖書は、大学構内で配布していた、英訳と日本語で読めるギデオンの聖書でした。特に読む事もないのですが、5回の引越し好きな私のアパートに、ずっと一緒でした。

大学生活と合唱団の仕事は楽しく充実した日々で、私にとって聖書や教会、信仰とは別世界の事で、考えた事ありませんでした。

しかし仕事を始めて6年になる頃から体調不良が続き、「この仕事を続けられるだろうか…、また、東京で一人生活をしているが、将来私はどうなるのだろうか…」と不安になり、実家に帰る事にしました。

合唱団を退団する時に、クリスチャンのメンバーから、記念に、と大きな聖書をプレゼントして頂きました。その時から聖書が何を言っているのか知りたいと思うようになります。そのような時に、実家近くでピアノを教えていた子供のお母さんから誘われたのが異端宗教でした。

ビデオで、聖書の解釈を聴きながら、興味深々に通いましたが、両親の猛反対にあって、荻窪栄光教会で牧師から聖書を学ぶ機会が与えられました。

頑なで反抗的な私でしたが、「聖書はこういつているのですよ」と、牧師先生からの話を聴きながら、真実な神がいるなら、本当の神様が知りたいと願うようになりました。

そんな時、聖書を読んでいて、「御霊は真理だからである。」とのIヨハネ5:6のみ言葉にハツとしてから、どんどん聖書のことばが入って来て、間違っていた異端の教えに気付かされました。

洗礼の恵みに預かり、聖書は私の人生に無くてはならない神様の約束の言葉として力の源となりました。

ギデオン聖書を頂いて44年もちましたが、ギデオン協会から思いがけず、証の依頼を頂いて改めてギデオン聖書を開いて見ました。

大学構内で摘んだ四葉のクローバーが、しっかり押花になっています。

また、汚れないように趣味で作っていた革細工のブックカバーも付けてあります。

そして受け入れた時の欄には名前と「S.51.6.16」と頂いた日付が書き込んでありました! (※)



目に見える形だったかもしれませんが、私にとってギデオン聖書は大切な宝物でした。

それを、目に見えない神様が私を捉えていて下さったと感謝しています。

(※) 編集注:ギデオン協会の聖書には、「キリストを私の救い主として受け入れる私の決意」として、名前と日付を書き込むページがあります。

聖書のためのご献金のお願い

お振込先

▼郵便振替口座

口座番号: 00130-9-57045

口座名: 一般財団法人日本国際ギデオン協会

▼ゆうちょ銀行

店番: 019 口座番号: 0057045

種類: 2当座 口座名: 一般財団法人日本国際ギデオン協会



ギデオンフレンズの
皆様の尊いご支援に
感謝申し上げます!

ギデオン聖書には
キリストを個人的な
救い主として受け入
れることを告白する
サインの頁があります。

一般財団法人 **日本国際ギデオン協会**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC401

電話 03-5280-2591 FAX 03-5280-2592

E-mail gideons-japan@gideons-jp.org

<http://www.gideons-jp.org/>

発行人 富澤 孝 / 編集人 平井規裕

発行日 2020年10月1日 CHECK IT! ギデオン協会HPをご覧ください!

